

たまねぎレポート【351号】



17.1.26 佐賀 白石

平成29年1月26日

阪南青果株式会社

社内報

12月の月平均気温は、東日本以南でかなり高く、沖縄・奄美では記録的な高温となった。降水量は、東日本の太平洋側と西日本でかなり多く、北日本の太平洋側でも多かった。降雪量は、北海道地方では平年並みだったものの、低気圧の影響で局地的に大雪となった日があった。一方、東北地方以南では、北からの寒気の影響が弱く、降雪量は少なかった。1月は、年始は穏やかで温暖な天候であったが、月後半は低温の日が多く西日本の日本海側では大雪に見舞われた。

気象庁が発表した2～4月の3ヶ月予報では、此の期間の降水量は、東・西日本の太平洋側と沖縄・奄美で平年並み亦は少ない。月別予報は次の通り。

2月、北日本の日本海側では、平年と同様曇りや雪の日が多い。東・西日本の日本海側では、平年と同様曇りや雪亦は雨の日が多い。北・東・西日本の太平洋側では平年と同様晴れの日が多い。沖縄・奄美では平年と同様曇りや雨の日が多い。

3月、北日本の日本海側では、平年と同様曇りや雪亦は雨の日が多く、太平洋側では晴れの日が多い。東・西日本では、天気は数日の周期で変わり、太平洋側では、平年と同様晴れの日が多い。沖縄・奄美では平年に比べ曇りや雨の日が少ない。

4月、全国的に天気は数日の周期で変わる。北・東日本の太平洋側と西日本では、平年と同様晴れの日が多い。

需要(市場)の動き

野菜の概況

12月の主要市場の野菜の入荷は、前月と同様福岡以外の市場で前年比減であった。平均価格は前年比127～109%と前月に比べ値下がり傾向となったものの依然野菜高の印象が続いた。市場別に入荷量と価格は、札幌市場の入荷は前年比91%、平均価格はkg ¥199前年比127%。東京市場は前年比95%の入荷で、平均価格はkg ¥272前年比122%。名古屋市場は前年比96%の入荷で、平均単価はkg ¥237前年比117%。大阪本場の入荷は前年比96%で、平均単価はkg ¥270前年比121%。福岡市場の入荷は前年比111%で平均単価はkg ¥176前年比109%となっている。28年度の1～12月の野菜の年間市場平均価格は過去最高値であったと報告されている。

主要市場の12月の玉葱入荷は、主力の北海道物の入荷が順調で総ての市場で前年並みか前年を上回った。市場別では、札幌市場の入荷は4,713トン前年比118%、平均単価はkg ¥60前年比105%。東京市場は11,441トンの入荷で前年比100%、平均単価はkg ¥75前年比109%。名古屋市場の入

荷は8,414トン前年比118%、平均単価は kg ¥67前年比102%。大阪本場の入荷は3,944トン前年比104%、平均単価は kg ¥78前年比95%。福岡市場の入荷は4,890トン前年比138%、平均単価は Kg ¥78前年比102%となっている。

日本農業新聞社が集計した、全国主要7地区の代表荷受7社の、主要野菜14品目の12月の販売量は、93,046トン前年比104%(前月比106%)。平均単価はkg ¥153前年比123%(前月比84%)で沈静化傾向となったものの総じては高値基調であった。入荷が前年比増となったのは、玉葱が前年比132%、ピーマンが116%、ホウレンソウが112%など8品目(前月5品目)。前年比減となったのは、トマトが前年比81%、バレイショが84%、ネギ・ナスが94%など6品目(前月は8品目)。価格が前年比高であったのは、キャベツが前年比194%、バレイショが186%、ハクサイが180%など9品目(前月は13品目)。前年比安であった品目はサトイモが前年比86%、キュウリが90%、ピーマンが94%など4品目(前月は1品目)。玉葱については、入荷が前年比大幅増で価格は前年比99%で前年並みとなっている。

東京都中央卸売市場の12月の野菜の入荷は、132,314トン前年比95%(前月比110%)であった。主要品目で前年比増となった品目は、ピーマンが前年比118%、ハクサイが108%、レタスが107%など7品目(前月は6品目)。前年比減となった品目は、トマトが前年比80%、ニンジンが85%、バレイショが87%など6品目(前月は9品目)。平均単価はkg ¥272前年比122%(前月比94%)で、軟化傾向となったものの高値水準を維持した。主要品目の入荷量と平均単価は次表の通りである。

東京都中央卸売市場の12月の入荷量と単価

品 目	入荷量 (t)	前年比 (%)	前月比 (%)	単 価 (¥/kg)	前年比 (%)	前月比 (%)
野 菜 総 数	132,314	95.2	109.7	272	121.7	93.8
た ま ね ぎ	11,441	100.1	106.6	75	109.1	101.4
は く さ い	14,745	107.6	101.3	83	252.3	71.6
キ ャ ベ ツ	14,178	100.1	103.4	112	198.7	65.1
だ い こ ん	13,111	99.4	105.0	90	170.4	72.6
ば れ い し ょ	7,451	86.7	103.0	189	185.8	111.2
に ん じ ん	8,470	85.0	122.5	148	157.8	70.1
レ タ ス	8,575	106.5	125.6	233	115.7	82.0
き ゆ う り	4,490	106.0	101.3	464	89.0	103.3
ト マ ト	4,423	79.9	113.1	577	173.7	92.5
か ぼ ち ゃ	2,737	81.5	121.2	252	125.7	92.3
れ ん こ ん	1,206	83.9	144.3	594	114.6	108.0
な が い も	809	77.7	111.9	507	136.2	111.9
に ん に く	316	85.1	112.5	1,169	116.1	94.7

玉葱の概況

東京市場

東京都中央卸売市場の12月の玉葱の入荷は、11,441トン前年比100%（前月比107%）で順調であった。北海物が主力で、北海物の入荷は11,092トン前年比100%、占有率は97%で前年比0.2ポイントアップ。中国物の入荷は249トン前年比113%、占有率は2%で前年比0.3ポイントアップ。兵庫物の入荷は33トン前年比49%、占有率は0.3%で前年比0.3ポイントダウン。平均単価はkg ¥75前年比109%（前月比101%）で総じては横這いの動きで

年末は強含みとなった。産地別の月平均価格は北海物がkg ¥73前年比111%、兵庫物はkg ¥284前年比115%、中国物はkg ¥92前年比91%であった。亦、旬別の平均単価は、上旬は¥74で強含み、中旬は¥74で保合、下旬は¥76で強保合であった。

年明けは、年始売りの北海物の在庫は少なめで、月前半は品薄傾向で、産地からの新着待ちとなった。相場は強保合となったものの、荷動きは今ひとつであった。静岡の極早生は初市から主力市場に入荷したが、引き合いが弱く売れ残りが発生した。月後半は、北海物の荷動きは回復傾向となったが、入荷が不安定で、品薄傾向となっている。相場は強含んでいるものの、値上がりするほど日々の引きは強くない。静岡物のお荷は増加傾向にあるが、それなりに捌けている。

名古屋市場

名古屋中央卸売市場の12月の玉葱のお荷量は、8,414トン前年比118%（前月比132%）で順調であった。前月同様北海物単独的販売で、北海物のお荷は8,372トン前年比118%、占有率は前月同様ほぼ100%で前年と同じ。兵庫物は20トンのお荷で前年比113%、平均単価はkg ¥67前年比102%（前月比100%）の横這いで推移した。産地別の平均単価は、北海物はkg ¥67前年比103%となっている。

1月に入って、北海物は年始売りの在庫が少なく、引き合いが強く品薄で強保合で推移した。産地からの新着待ちとなったが、月半ばまでは不安定な入荷が続いた。月後半のお荷は概ね順調で、荷動きもますますで需給は均衡している。昨今、値上げ販売を試みるも、値上げすると動きは鈍る環境にある。静岡物は、日量5トン前後の販売だが、残さずに販売している。

大阪本場

大阪市中央卸売市場本場の12月の玉葱の販売量は、3,944トン 前年比104%（前月比95%）で、産地別では北海物増、淡路物減で総じては順調であ

った。北海物主力の販売で、北海物の入荷は、3,685トン前年比110%(前月比96%)、占有率は93%で前年比5ポイントアップ。兵庫物の入荷は256トン前年比55%、占有率は7%で前年比5ポイントダウン。中国物は2トンの入荷で前年比1167%。平均単価はkg¥78前年比95%(前月比98%)で、市況は保合で推移した。産地別では、北海物はkg¥67で前年比104%、兵庫物はkg¥226で前年比107%、中国物はkg¥117前年比93%となっている。

1月5日の初市は、祝儀的な相場はなく凡調であった。静岡の早生は初売りで球締り、球揃いが良く、2L、L、半々の入荷で相場は10kg2L¥2,300、L¥3,000で順調な幕開け。北海物は入荷少なく保合、兵庫の冷蔵物は引き合い弱く軟調であった。月前半の北海物は、入荷が不安定で少なく、仲卸のランニングストックが底を突き、中旬からは引き合いが強まり強保合に転じ、L大¥1,800、L¥1,700まで上昇、オホーツク地区が主力で2Lの比率が高く、需要の多いL大の品不足が続いた。此処に来て荷動きは鈍化傾向になっている。淡路の冷蔵物は軟調で10kg¥2,000前後に落ち込んでいる。静岡物は日量10トン前後の入荷で安定化して、相場も¥2,700~2,500で安定している。

福岡市場

福岡市中央卸売市場の12月の玉葱の入荷は、4,890トン前年比138%(前月比97%)で潤沢であった。集荷増が続き拠点市場の面目躍如。北海物主力の販売で、北海物の入荷は4,577トン前年比145%、占有率は94%で前年比5ポイントアップ。中国物は207トンの入荷で前年比83%、占有率は4%で3ポイントダウン。香川物は48トンの入荷で前年比96%、占有率は1%で0.4ポイントダウン。平均単価はkg¥78前年比101%(前月比79%)であった。産地別では、北海物はkg¥75で前年比103%。中国物はkg¥65で前年比71%、香川物はkg¥264で前年比127%となっている。

1月に入って、20日までの入荷は1,618トン前年比153%、平均単価はkg

¥86前年比105%であった。北海物は、年末年始売りのランニングストックが少なめだったことや、地方市場からの引き合いが強まり品不足気味となり、月前半は先決め販売以外の顧客には強気の販売姿勢で臨んだが、荷動きの鈍化はなかった。月半ばから北海物の新着が増加傾向となったものの、降雪に阻まれ着荷が不安定で、多少のランニングストックが必要となっている。

1月24日(火)の建値市場の玉葱市況は次の通り

【札幌市場】 入荷 291トン、弱保合

北海道 20kgDB2L¥1,500～1,200、L大 ¥1,500～1,250、L ¥1,400～1,200、
M ¥900～

北海道 20kgNT2L ¥1,250～1,200、L大 ¥1,250～1,200、L ¥1,200～1,100、
M ¥900 ～ S ¥300 ～

【太田市場】 入荷 273トン、強保合

北海道 20kgDB2L ¥1,400～1,200、L大 ¥1,500～1,400、L ¥1,500～1,400、
M ¥1,300～1,250。

静岡(黄)10kgDB2L ¥1,900～1,800、L ¥2,500～2,400、M ¥2,500～2,400
B ¥2,000～1,900。

【名古屋北部】 入荷259トン、弱保合

北海道 20kgDB2L ¥1,400～1,300、L大 ¥1,500～1,400、L ¥1,500～1,400、
M ¥1,300～

静岡(黄)10kgDB2L ¥2000～1,900、L ¥2,500～2,400、M ¥2,300～2,200
B ¥2,100～2,000。

【大阪本場】 入荷106トン、弱含み

兵庫 10kgDB2L ¥2,000～1,800、L ¥2,300～1,800、M ¥2,000～1,600、

北海道 20kgDB2L ¥1,500～1,400、L大 ¥1,800～1,500、L ¥1,700～1,500、
M ¥1,400～1,300。

静岡(黄)10kgDB2L¥2,300～2,100、L ¥ 2,700～2,500、M ¥ 2,500～2,400
B¥2,300～2,200。

静岡(白)葉付き 2P2L¥130～ L¥130～ M¥130～

【福岡市場】 入荷142トン、保合

愛 媛 10kgDB2L¥3,200～2,800、L ¥ 3,200～2,800、M ¥ 2,800～2,600、
北海道 20kgDB2L¥1,500～1,300、L大 ¥ 1,800～1,400、L ¥ 1,800～1,400、
M¥1,600～1,300。

供給(産地)の動き

12月の野菜の市況は、軟化傾向に転じたものの、品薄高の品目が多く、平均単価は前年比2割前後の高値となった。主要野菜の中で玉葱だけは順調な出回りで、前年比5%程度の上昇にとどまった。

主力の北海物の年内の出荷進度はまちまちで、石狩、空知は前進化傾向で、上川、オホーツクは後ズレ傾向にあり、越年在庫は前年並みか前年を上回ると見られている。

輸入物は、10～12月の3カ月の集計で68,644トン(前年比118%)と増加傾向で、予想を上回った。輸入業者の間では、年明け1～4月も、中国物を主力に前年より多い80,000トン(前年67,900トン)前年比118%前後の輸入があると見ている。

府県物は、冷蔵物の越年在庫は9,000トン(前年14,100トン)で前年比64%。極早生は既に静岡物の出荷が始まっており、球肥大、球揃いが良好で6,250トン前年比110%の出荷が計画されている。長崎、佐賀は定植期の天候不順で、定植が後ズレしたことで、2～4月の出荷は、前年比10～15%減少すると予想されている。

今後の府県の早生物の生育は、気象条件や環境変化等で、未だ流動的な面があり、輸入物についても流動的で増減の可能性はある。他方、北海物の輸

出は、前年比減が確実視されていることから、現時点では、年明けの供給量は、前年並みか前年を上回る可能性は否めず、予断は禁物である。

北海道産地

北海道産地の出荷進捗は、前進化している地域と後ズレしている地域があり、総じては計画の65%を下回っていると予想している。27年度の63%に比べて同等か下回っている可能性も否めない。昨シーズンは、府県産の最盛期までに完売出来ないのではないかと、産地関係者の間では危機感が広がっていたが、佐賀の病害を始め府県産の減産で、販売期間が延長され、5月は品薄高となり完売が出来た。今シーズンも府県産地では初冬の天候不良で定植が遅れていることや病害の再発懸念等の情報が伝わり、年明けの販売に危機感がなく、むしろ市況回復の期待感が強まっている。従って、昨年度のような出荷の焦りは何処にも見受けられない。ホクレン、北商の年内の道外出荷の速報値では、数量は前年比98%で、空知が前年比増で前進化、石狩、上川、十勝、オホーツクが前年比減で、前年以上の豊作となった大産地のオホーツク、上川の出荷減は後ズレ傾向であると推測される。現在、産地在庫の玉葱は大粒ながら品質に問題はなく、商品化率は前年よりも良いと見ている向きが多い。

府県産地

府県の冷蔵物の主力産地の淡路島では、地場産の越年在庫は4,620トンの予想。昨秋の市況はkg¥300前後の異常高値で推移し、原価高であったものの応分の利益確保が出来た。然し昨今の市況は、高値反動と北海物の潤沢な入荷に加え、静岡の極早生の出荷が始まり、引き合が弱まり、市況はkg¥200前後に落込み、苦戦が続いている。昨秋に比べ、貯蔵費用が嵩むほか、品質劣化で商品化率が低下し、採算割れに追い込まれている。次シーズンの作付けは前年並みの1,500haを予想。早生種の定植は予定通り終了したが、中晩生の定植は、12月の多雨日照不足で大幅に遅れていたが、年末年始が好天に恵まれたことで、大規模の生産者以外は終了した。

府県一番の産地である佐賀では、昨年春のベト病の大被害に依るダメージで、栽培意欲が減退していることや、定植期の天候不良で、苗立ちの不良に加え、極早生以外の定植かが大幅に遅れている。例年、年内の定植進度率は85～90%だが、今年は50%前後にとどまり、苗の老化が心配されていたが、年末年始の晴天に助けられ松の内に進度は75～80%に回復した。現在、ベト病の発生は発見されていないと言うが、初期生育が懸念されている。一部生産者の栽培断念などもあり、10～15%の減反は避けられないと見ている。

長崎も定植が後ズレしていたが、12月中に終了した。昨年は2月初めから出荷が開始されたが、今年の出荷は例年より後ズレすると見ている。

静岡の極早生は例年通り、初市から出荷されているか、懸念されていた生育は、予想以上に順調で球肥大、球揃いともに良好で、例年に比べB、Cの下等級の発生が少なく、品質は良好である。2月を重点に前年比110%強の出荷を計画している。愛知の極早生も既に少量ながら地元市場に出回っている。

外国産地

12月の輸入は、速報値で、20,368トン前年比103%。国別の輸入量では、中国が18,988トン前年比99%。アメリカが1,345トン前年比272%、となっている。

中国、現在の出荷は、甘肅省で3月まで続くが、既に終盤期を迎えている。今シーズンは国内外ともマーケットは振るわず、安値が続いていたが、パッカーの談合などで産地価格は一時値上がりしたが、年明けから値下がりしたものの、現在、韓国から大量な注文が入り、再び値上がりしている。現在の日本向け価格は、ムキ玉20kg・C&F・\$10.00～9.60、皮付き\$8.00である。

アメリカ、貯蔵性玉葱の1月1日時点の産地在庫は、前年比99.4%で、日本に関係の深いワシントン105.6%と報告されている。年始に大寒波の襲来で、輸送が停滞し国内マーケットは\$4.00が\$6.00に上昇している模様。現在の日本向け価格は、50㍉・Jサイズ・C&F・\$10.75前後となっている。

ニュージーランド、今シーズンの作付けは、5,225haで前年比106%。主産地のプケコヘでは既に収穫が始まっているが、低温、日照不足、旱魃などの天候不順が続き、例年に比べ小粒傾向で、生育、収穫はともに10～15日遅れている模様。現在、欧州向けの成約は平年通りと言うが、日本向けの成約は進んでいない。

2月の市況見通し

北海物は、年末年始の出回りが予想より少なく、年明けの市場は何れも需給は均衡またはタイト傾向になり、市況は保合から強保合に転じた。ホクレンの年末年始販売向けの減量出荷で、品薄高傾向となった。現状の市況を眺め、北海道産地では、春高期待感が広がっている。静岡の早生物は2月がピークで前年比10%増の出回りが予想されている。2月の北海物の市況はホクレンの出荷姿勢に左右されるものの、現状の出回り状態なれば、L大20kg ¥1,600～1,400。静岡物は保合で10kgL ¥2,700～2,500。と予想している。(了)